

令和5年度 シラバス (芸術科 美術 美術Ⅰ)

芸術	必修選択	科目名	美術Ⅰ		
使用教科書		高校生の美術Ⅰ (日本文教出版)			
履修学年		第 1 学年	履修単位	2 単位	
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
評価基準 及び方法	①知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。			
	②思考・判断・表現	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練り、美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			
	③主体的に学習に取り組む態度	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。			
	表現活動への取り組み姿勢・作品・ポートフォリオ提出・単元テストなどで総合的に評価。				
その他留意点	用具の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する。				

月	内容・考査など	学習内容及び教材など	①	②	③	時間
4	○オリエンテーション	・年間の学習計画や学習内容を学ぶ。(美術Ⅰの概要)			○	2
5	○絵画 (植物・風景を描く)	・水彩絵の具についての基礎的技能を習得し、植物の生命力を色や構造を工夫し表現する。 ・遠近法を効果的に用いた風景を撮影し、表現する。	○	○	○	12
6	○単元テスト	・水彩絵の具の扱いと遠近法・構図について	○			
7	○鑑賞(日本美術) ○映像メディア表現 (写真で表す) ○デザイン (生活を彩る文様)	・日本の美術の良さや特性を理解し、味わう。 ・構図や被写体に対する角度、光と影の効果、シャッタースピードなどを工夫し、写真を表す。 ・携帯電話又は身近な機器の写真機能を使用し、写真表現について学ぶ。 ・色彩理論をおさえて、模様をデザインする。使う場面を想定し、イメージに合う形や色を工夫する		○	○	2 2 6
9	○デザイン(キャラクターをつくる)	・自分の名前キャラクターをデザインし、名刺を制作する。		○	○	10 16
10	○鉛筆デッサン	・鉛筆デッサンの基本を習得し、写真模写の表現に生かす。	○			
11	基本形態から人物	・人物の表情の豊かさに気がつき、その人の個性や人柄などが表れた人物画を表す。		○	○	
12	○鑑賞と単元テスト	・「祈りの形」仏像の顔や手の表情、着衣や持ち物、部分と全体の関係、様式などに着目し鑑賞を深める。		○	○	4
1	○映像で伝えるメッセージ	・画面の構成や一コマの時間、言葉や音などの効果を生かし、自分の伝えたいことを映像で表す。		○	○	10
2						
3	○芸術発表にむけて	・芸術発表に向けて、作品の額装や修正、キャプションの準備をして発表に備える。		○	○	4
	○まとめ	・1年間の美術を振り返り、教科書p2「美術とはなにか」を再度考察し話し合う。			○	2